

平成30年度事業の概要

財団の設立目的である神奈川県内の医学・医療水準の向上を目指して、医学研究助成をはじめ、医学教育等助成、医学・医療啓発事業などを行ないました。

医学研究助成については、梅原清氏のご寄附によって設立された梅原基金による推進研究助成は、平成30年度開始研究3件、継続研究2か年度各3件、総額900万円の助成を行いました。このほか、将来性ある若手研究者へのわかば研究助成や、指定寄付研究助成では5分野への助成など以下記載の助成を行いました。

市大教育等助成では、28年度に開始した学術講演会助成を引き続き行いました。

医学・医療啓発事業では、29年度創刊の広報誌「わかば」を引き続き発行しました。

《研究等助成事業》

① 推進研究助成 新規分	300	万円	3件
同上 継続分	600	万円	6件
② わかば研究助成	550	万円	11件
③ 医療技術研究助成	90	万円	5件
④ 医学・医療関連事業助成	200	万円	4件
⑤ 指定寄附研究助成	240	万円	6件
①～⑤ 小計	1,980	万円	35件

《横浜市大教育等助成事業》

⑥ 大学院優秀論文賞	20	万円	1件
⑦ 学生自主的活動助成	76.7	万円	6件
⑧ 学術講演会助成	18	万円	4件
⑥～⑧ 小計	114.7	万円	11件

《医学・医療啓発事業》

合 計	2,249.7	万円	46件
-----	---------	----	-----

1 研究助成事業

(1) 推進研究助成 計 9 件 900 万円

1 平成30年度開始研究 3件 計 300万円

- ① 阿部弘基 横浜市立大学医学部 生理学 100万円
「リハビリテーション促進薬の客観的臨床評価指標の開発」
- ② 國本博義 横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学 100万円
「炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成」
- ③ 加藤真吾 横浜市立大学附属病院 がんゲノム診断科 100万円
「ヒトオルガノイド細胞株を用いたがんクリニカルシーケンス意義不明変異の機能評価法の確立」

2 平成29年度開始研究 3件 計 300万円

- ① 立石健祐 横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科 100万円
「IDH1変異が及ぼすDNA修復機構変化の解明と合成致死に基づく治療法の開発」
- ② 宮川敬 横浜市立大学大学院医学研究科 微生物学 100万円
「HIV 潜伏感染に関わる宿主因子の探索と機能解析」
- ③ 蓮見壽史 横浜市立大学医学部 泌尿器科学 100万円
「Birt-Hogg-Dubé (BHD)関連腎癌をモデルとした新規腎癌治療薬開発のための創薬基盤確立」

3 平成28年度開始研究 3件 計 300万円

- ① 日暮琢磨 横浜市立大学附属病院 内視鏡センター 100万円
「アスピリンとメトホルミンの組み合わせによる大腸腫瘍の化学予防効果の検討」
- ② 富樫優 横浜市立大学医学部 分子内分泌・糖尿病内科学 100万円

「新規急性インスリン抵抗性誘導モデルによる膵 β 細胞、肝臓、脂肪組織の回復機構」

- ③ 黒 滝 大 翼 横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学 100 万円
「単球・樹状細胞分化を制御する遺伝子発現制御機構の解明」

(2) わかば研究助成 計 11 件 550 万円

- ① 土 田 奈緒美 横浜市立大学大学院医学研究科
幹細胞免疫制御内科学 50 万円
「成人自己炎症性疾患の遺伝学的病態解明と治療法の開発」
- ② 内 山 由 理 横浜市立大学大学院医学研究科 がん総合医科学 50 万円
「先天性血小板減少症・止血凝固異常症の遺伝的病態の解明」
- ③ 京 原 麻 由 横浜市立大学附属病院 内分泌・糖尿病内科 50 万円
「血清プロテオミクスにより同定された soluble EGFR の糖尿病バイオマーカーとしての検討」
- ④ 本 多 靖 横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学 50 万円
「非アルコール性脂肪肝疾患を背景にした新規肝癌モデルの検討」
- ⑤ 小 林 竜 横浜市立大学附属病院 腎臓・高血圧内科 50 万円
「うつ病治療の新たなターゲットとしての ATRAP の可能性」
- ⑥ 神 山 玲 光 横浜市立大学附属病院
血液・リウマチ・感染症内科 50 万円
「全身性エリテマトーデスにおける TRIM21 の役割について」
- ⑦ 木 野 旅 人 横浜市立大学附属病院 循環器内科 50 万円
「腎尿細管における受容体随伴性プロレニン (RAP)系による、循環調節の解明」
- ⑧ 須 江 聡一郎 横浜市立大学附属病院 消化器内科 50 万円
「若年者における「ボノプラザン・アモキシシリン 7 日・ボノプラザン・メ
トロニダゾール・シタフロキサシン 7 日の sequential 治療」と「ボノプラ
ザン・アモキシシリン・メトロニダゾール 3 剤 7 日治療」のヘリコバクタ
ー・ピロリ除菌治療を比較するランダム化比較試験」

- ⑨ 窪田 瞬 横浜市立大学附属病院 神経内科・脳卒中科 50万円
「コンディショナルノックアウトマウスを用いた ALS 責任遺伝子 UBQLN2 の機能解析」
- ⑩ 田代 研 横浜市立大学大学院医学研究科 呼吸器病学 50万円
「結核菌感染症患者における CD4⁺ T 細胞での PD1 発現頻度と PDCD1 SNP との関連の検証による疾患感受性因子としての有用性の検討」
- ⑪ 長谷川 翔 横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学 50万円
「胆膵領域がんにおける AMPA 受容体シグナル伝達系に着目した新規診断・治療法の開発」

(3) 医療技術研究助成 計 5件 90万円

- ① 福田 真佑 横浜市立大学医学部看護学科 看護生命科学 20万円
「肥満皮膚創傷治療遅延への新しいアプローチ -酸化ストレスに着目したバイブレーションセラピーの効果とメカニズム解明- 」
- ② 井出 悠紀子 横浜市立大学附属病院 周麻酔期看護師 15万円
「周麻酔期看護師が関与した手術麻酔の合併症 -周麻酔期看護師関与症例と非関与症例の比較- 」
- ③ 海賀 一早 横浜市立大学大学院医学研究科 看護学 20万円
「肥満者における真皮エラスチン分解酵素の解析-健やかな皮膚の維持を目指して-」
- ④ 望月 英樹 横浜市立大学附属 市民総合医療センター
リハビリテーション部 15万円
「横浜地域在住の慢性疼痛患者における身体活動量の調査」
- ⑤ 尾川 松義 横浜市立大学附属病院 放射線部 20万円
「核医学診療における放射性同位元素による汚染時サーベイランス評価法の検討」

(4) 医学・医療関連事業助成 計 4件 200万円

- ① 富安 もよこ 神奈川県立こども医療センター 放射線科 50万円
「早産児の新生時期における脳内代謝物濃度と就学時期における神経発達評価との関連性」

- ② 川 瀧 元 良 神奈川県立こども医療センター 新生児科 50 万円
「インターネットを活用した県内産科クリニックとの胎児心疾患動画像の共有による胎児心エコースクリーニング普及のための活動」
- ③ 水 嶋 春 朔 横浜市立大学医学部 50 万円
「ブラジル日系永住者巡回診療健診フィールドワーク」
- ④ 近 内 美乃里 横浜市立大学大学院医学研究科 医学教育学 50 万円
「神奈川県の子核患者における疫学的特徴と分子疫学的解析に関する研究」

(5) 指定寄附研究助成 計 6 件 240 万円

(心臓疾患)

- ① 上 村 大 輔 横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学 50 万円
「収縮機能の保持された心不全における Ca²⁺過負荷の病態への影響とその制御に関する検討」
- ② 南 智 行 横浜市立大学附属 市民総合医療センター
心臓血管センター外科 50 万円
「中枢吻合 “Pouch”を用いた遊離右内胸動脈 (free RITA) の早期、遠隔期成績及び開存率の検討」

(腎臓がん関係)

- 大 竹 慎 二 横浜市立大学医学部 泌尿器科学 50 万円
「FLCN ノックアウトマウスを用いた Birt-Hogg-Dubè (BHD)関連腎癌の発癌機序の解明」

(血液内科学関係)

- 柴 徳 生 横浜市立大学医学部 児科学 30 万円
「急性骨髄性白血病における PRDM16 高発現症例に対する新規分子標的の同定」

(腎臓・循環器内科学関係)

- 橋 本 達 夫 横浜市立大学医学部 分子薬理神経生物学 30 万円
「肺高血圧症におけるドーパミン神経伝達機構の解析」

(胆のうがん関係)

- 小 川 祐 二 横浜市立大学医学部 肝胆膵消化器病学 30 万円
「新規治療薬開発に適したマウス胆嚢癌同所移植モデルの開発」

2 横浜市大教育等助成事業

(1) 大学院優秀論文賞 計 1件 20万円

- ① 田村智彦 横浜市立大学大学院 医学研究科長
大学優秀論文賞

次の3名に横浜市立大学大学院優秀論文賞の副賞を授与した。

最優秀論文賞

綾部宏昭 (臓器再生医学)

優秀論文賞

中鍛治里奈 (顎顔面口腔機能制御学)

秋本大輔 (脳神経外科学)

(2) 学生自主的活動助成 計 12件 76.7万円

- ① 村松さやか 横浜市立大学医学部看護学科4年 15万円
「米国の大学・付属病院における重症・希少疾患患者に対する高度看護実践と教育・研究に関する研修」
- ② 中村郁海 横浜市立大学医学部看護学科4年 15万円
「米国の大学・付属病院における重症・希少疾患患者に対する高度看護実践と教育・研究に関する研修」
- ③ 石塚有希子 横浜市立大学医学部看護学科4年 15万円
「米国の大学・付属病院における重症・希少疾患患者に対する高度看護実践と教育・研究に関する研修」
- ④ 松元加奈 横浜市立大学医学部看護学科5年 1.7万円
「第107回日本病理学会」ポスター発表
- ⑤ 立入仁美 横浜市立大学医学部医学科6年 15万円
「ブラジル日系永住者巡回診療検診」
- ⑥ 橘優汰 横浜市立大学医学部医学科6年 15万円
「ブラジル日系永住者巡回診療検診」

(3) 学術講演会助成 計 4件 18万円

- ① 山本哲哉 横浜市立大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 5万円
「脳神経外科教育セミナー 2018」
- ② 藤田孝之 横浜市立大学大学院医学系研究科 循環制御医学 5万円
「第28回日本病態生理学会大会」
- ③ 石上友章 横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学 5万円
「第5回日本血管血流学会学術集会」
- ④ 古屋充子 横浜市立大学医学研究科 分子病理学 3万円
「第7回神奈川婦人科臨床病理研究会」

3 医学・医療啓発事業

(1) 事業年報及び研究助成報告書の刊行 計155万円

事業年報

研究等報告書抄録集(学生自主的活動・学術講演会助成報告書掲載)

広報紙「わかば」発行

(2) シモンズ墓所 青山霊園 (経費の0.9万円は(1)の内数)

墓所管理費等

4 横浜市立大学附属2病院内の売店経営

横浜市立大学附属の2病院内の売店を経営し、“売店は、患者さんのオアシス”をモットーに、患者さんや病院職員等に医療衛生用品や日用品、お弁当や飲料などを販売しました。

両売店の売上純利益については、経営安定化準備金を除く全額を公益事業に繰り入れています。30年度の売上純利益は約1,489万円で、このうち約1,150万円を公益事業に繰り入れました。29年度の約671万円より約480万円多く繰り入れることができました。

平成28年度から医療衛生用品を取扱商品の主力とするなどさまざまな経営改善を実施しており、29年度以降、一定の成果が出ております。

5 賛助会員の募集

平成24年度から行っている賛助会員の募集は、俱進会たより(財団だよりのページ)、財団リーフレット、財団広報誌「わかば」などさまざまな媒体、機会を利用して行いました。平成平成30年度の会員数は302名で、29年度の277名より増加しています。

6 ご寄付のPR

賛助会会員、俱進会会員の皆様のほか多くの方々から御寄付をいただけますよう本財団の趣旨、事業内容や実績等をあらゆる機会をとらえ、広くPR致しました